



学校だより

すべての命が輝く鎌田小学校



鎌田マスコットキャラクター
くすのつき m.m

第十四号

校長 杉村 幸恵

運動会に向けて、頑張っています！

運動会が明後日に迫り、子どもたちの練習も大詰めです。

「ひじをぴんと伸ばすと、もっときれいに見えるね。」

「一つ一つの動作が、きびきびしていていいですね。」

など、先生たちの指導も、一段階上がったように感じま

す。子どもたちと先生たちが、「お家の人たちによりよい姿

を見ていただく。」という思いを一つにしている様子がか

がえます。



安全に運動会を実施することができそうです。様々な観点から御協力をお願いしております。御理解の程お願いいたします。

ルールを決めて、安全に活用を。

あまり皆さんにお知らせすることはないのですが、学校の先生たちも日々、勉強をしています。夏休み中にもそれぞれの先生方が研修を受けたり会議に出席したりして学んできたことを、教員全員で学び合う研修を行いました。

私がこの夏休みに参加した勉強会の中に、「インターネットリテラシー」に関するものがありません。保護者の皆さまとも共有させていただけることがありましたので御紹介します。

なら情報セキュリティ総合研究所の日置先生によると、時代の流れの中でインターネットを用いて「できること」が格段に増えたことは間違いないことですが、そもそも「できること」と「やってよいこと」とは違うということでした。技術的にできることが増えている中で、よく考えないと「ついやってしまう」ということがあることを認識しなければならぬとおっしゃっていました。

「ついやってしまいがちなこと」としては、「思ったことを書いてしまう」「時間を忘れてしまう」「アプリを入れてしまう」「ネットにアップしてしまう」というようなことです。「やっていいか」「やってはいけないか」は、大人が判断や認識をし、子どもと共に考えていくことが大切とおっしゃっていました。

話の中で、Appleの創業者であるスティーブジョブズは、自分の子どもにもテクノロジーを触らせなかった、Googleを自分の子どもに置くことすらしなかったというエピソードを紹介されました。テクノロジーの便利さと危険さを誰よりも分かっていたからだとのことでした。

一人一台端末が実現された中、学校は学校の立場で指導を続けます。今一度、御家庭におかれましても家庭の立場でルールをつくっていただくと同時に、お子さまの使用について把握していただきますようお願いいたします。



天気予報によると雨の心配はなさそうですが、朝と日中の気温差があり、昼間は残暑が厳しいようです。感染症予防も手を抜くわけにはいきませんが、学校としてはテント下での観覧中はマスク着用を原則としつつも、熱中症予防の観点から競技・演技中はマスクを外すよう指示をいたします。しかしマスクの着脱につきましては、強制をすることができないのが現実です。着脱につきましては、当日までに御家庭でお子さまとしっかり話し合いをしていただきますよう、切にお願いをします。

御観覧いただく保護者の皆さまも、それぞれで熱中症対策をお願います。「待機ゾーン」内では、飲食をしていただくことはできませんが、熱中症予防の水分補給は別です。

なお、先日配布いたしました「運動会参加票について」にもあります通り、発熱等の風邪様症状が見られる場合は、参加を見合わせていただく必要があります。のどの痛みや咳などもこれに当てはまるとお考え下さい。

